

2021年 初夏号 2021/6/1 発行

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-10 安田ビル3階
TEL&FAX 03-3352-3918 Email: info@jifa.org

JIFA会員の皆様は、それぞれの分野で世界各国の人々との親善活動を進めています。国連SDGs、人権侵害、子供同士の交流など、国内外の人々と連携して活躍されています。本号は、会員の皆さんの活動をご紹介します。

会員の活動から

ベトナム支援留学生（学生会員）が講演 ～手紙を交換した中学生と交流～ 2021年3月23日

JIFAの学資支援を受け、ベトナム・ハティン省の高校を卒業し、一昨年来日したグエン・ティ・タン・タオさん(20)は、今では、JIFA学生会員として、自ら後輩の学資支援者となってJIFAの活動を支えています。タオさんは、都内中学校と国際交流の一環として手紙の交換をしてきましたが、それを契機に中学校ではベトナムの調べ学習をして、壁新聞を作成するなど交流を続けていました。

3月、文通していた中学生の卒業に際し、この中学校から招待され、話をする機会を得ました。新聞奨学生として、朝夕の新聞配達をしながら、日本語学校に通ったこと、4月から介護福祉専門学校で勉強し、将来、看護師となることを目標としていること、ベトナムの水害や帰国できずに困っているベトナム青年への想い、ベトナムの自然や食べものなどについて、日本語で講演しました。「卒業間近の3年生が、皆真剣に耳を傾け、話に聞き入っていた」「きっと生徒たちにとって進路選択の幅が広がったことでしょう」と先生からの感想が寄せられています。



皆さんに励まされて日本へ!!



Nguyen Thi Thanh Thao

桃



わたしの夢

Nguyen Thi Thanh Thao

日本語の習得
日本語能力試験
JLPTN1をめざします!

介護福祉専門学校で勉強
介護福祉士 資格取得

病院等で働きながら
職業訓練専門学校で勉強
国家資格
看護師 資格取得

日本の社会・歴史・文化
など広く勉強したい

看護師・介護福祉士
として
日本の目標へ戻したい

会員の活動から

ウイグル人権法に向けた署名活動

私はシャンソンはじめワールドミュージックを歌っています。遠い昔から歌い継がれてきた歌は鳥のように羽ばたき自由に世界中を旅しています。



仕事柄 世界中の歌を聴いている中でウイグルの美しい歌たちに出会いました。シルクロードがつらぬくこの国にも興味を持ち調べるうちに、地上波ニュースでは殆ど報道されることのないウイグルへの信じ難い残酷な現実を知りました。

2017年以降に収容所に送られた人々は100万人以上。どこにもある監視の目、洗脳教育、強制労働や妊娠中絶、不妊手術の強制、人権を無視した数々の残酷な現実。これをジェノサイドと言わずして何というのでしょうか。

「21世紀の虐殺行為」と国際批判が高まる今、先進国のなかでウイグル人権法、マグニッキーク法に手を挙げていないのは日本だけでした(4/3時点)

超党派での日本版ウイグル人権法成立に向けて署名活動が行われていることを知り、知人にも声を掛け署名いたしました。集計結果は参議院54,309 衆議院54,302となり衆参両院に届けられました。

このことが可決へのうねりとなりますよう祈念しています。

私はJIFAの一員としてこれまでに数回ベトナムへの学資支援、浄水装置設置の旅に同行させていただきました。日本人未踏の少数民族の方々の住む僻地まで赴き学校に泊まり音楽交流をしたこともありました。

ベトナムの文化、人々の生活を目の当たりにした大変貴重な経験でした。

世界の国々は当然の事乍ら思想、宗教、慣習も異なります。

各国がお互いの文化に敬意をはらい尊重し合わなければ、世界の平和は訪れないのではないのでしょうか。

世界の国々に常に温かい目を向け無私無欲な活動を続けているJIFA

甚だ微力ながら参加させて戴いていますことを心から感謝申し上げます。

(松岡けいこ・歌手)

会員の活動から

ミャンマー人道支援
SDGsバッジと支援金を贈る



在日ミャンマー人のなかには、母国の家族や友達と連絡が取れなくなっている方が少なくありません。JIFAでは、4月4日、会員から寄せられた支援金40,000円とSDGsバッジ50個を、静岡のミャンマー支援グループを通じて、日本語とミャンマー語のメッセージ（写真下）とともに贈りました。

クーデターに抗議する人々に対し、国軍記念日の前日3月26日の国営放送MRTVから、若者に対して「これまでの無残な死者の悲劇から、自分も頭や背中を撃たれる危険があると学ぶべきだ」と殺害を警告する内容が放映（写真右下）されるなど、危機的状況となっています。2月のクーデター以降、5月14日迄に、800人を超える市民が死亡、3500人以上が拘束されていると伝えられています。

チョー・モー・トゥン国連大使は軍の弾圧を食い止めるため、ひきつづき国連の場で、国際社会へ支援を呼び掛けています。また、各地で不服従運動も広がっています。WFP（世界食糧計画）では半年間で340万人が飢えに苦しむ恐れがある試算を発表し、国際社会の支援の広がりと呼び掛けています。

JIFAでは国内のミャンマー支援組織を通じて、国連SDGsバッジや支援金を送るとともに、困難な生活を強いられているミャンマーの人々への支援活動を継続する予定です。ミャンマー支援金は、随時受け付けていますのでJIFAまでお寄せください。



若者への銃撃を正当化し警告する国営放送MRTV

SDGs：持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) とは、持続可能な開発のために国連が定める国際目標で、17の世界的目標、169の達成基準、232の指標がある。2030年に向けた具体的行動指針。「誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現する」と宣言されており、人権尊重の理念が基礎にあります。



海辺の彼女たち 上映始まる
ポレポレ東中野 6月18日まで

劣悪な労働環境に耐え兼ね「失踪」したベトナム人女性たちの姿をドキュメンタリー風に描いた作品。外国人労働者の受入れのありようを鋭く問う作品。在日ミャンマー人家族の実話を描いた「僕の帰る場所」（2018年）に続く藤元明緒監督の作品。



5月1日からポレポレ東中野で一般公開され、順次全国上映予定。

JP-MIRAI 責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム
手数料問題研究会のご案内

JIFAも加盟した「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」では、様々な研究会が開催されています。外国人労働者の受入れの手数料をめぐって、「手数料問題研究会」が行われています。第1回『国際社会の動きと日本労働者受入れ制度』が4月27日(火)に開催されました。第2回は5月18日、第3回は6月1日、第4回は6月15日に開催されます。公開研究会ですので登録すれば、オンラインで参加できます。

申込：https://jp-mirai.org/jp/2021/4805/

JIFAでは、活動に賛同いただいた企業から割引価格で提供された新型コロナ抗体検査キット、プラセンタ美容製品等の普及を通して、グローバルドリーム財団（GDF 池田節子代表理事）と協力し、寄付金の増収を図っています。

JIFAの活動は会員の会費と寄付金によって支えられています。ご購入やご紹介等のご協力をお願いします。

一人でも多くの方に会員になっていただき活動へ参加下さいませよう 皆様をお誘いください！

Table with 3 columns: Membership Type, Entrance Fee, Annual Fee (minus entrance fee). Rows include Corporate Member, Individual Regular Member, Individual Sponsor Member, and Student Member.

※ 2020年度から法人、個人正会員、個人賛助会員の会費が改定されました。

※ 支援金 学資支援(1口 10,000円)
会費・支援金等は振込口座をご利用下さい
口座名：特定非営利活動法人 日本国際親善協会
☆ゆうちょ銀行 支店名〇一八(ゼロイチハチ) 記号 10150 番号 98253761
☆三井住友銀行新宿通支店 店番 661 普通 7274362

特定非営利活動法人 日本国際親善協会 (JIFA)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-10 安田ビル3階
TEL & FAX : 03-3352-3918 E-mail: info@jifa.org